

倶多楽の火山活動解説資料（平成25年7月）

札幌管区气象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気などの表面現象の状況（図1-①、図2）

日和山山頂爆裂火口の噴気の高さは火口縁上概ね30m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

・ 地震及び微動の発生状況（図1-②）

火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図1-③）

GPS連続観測では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

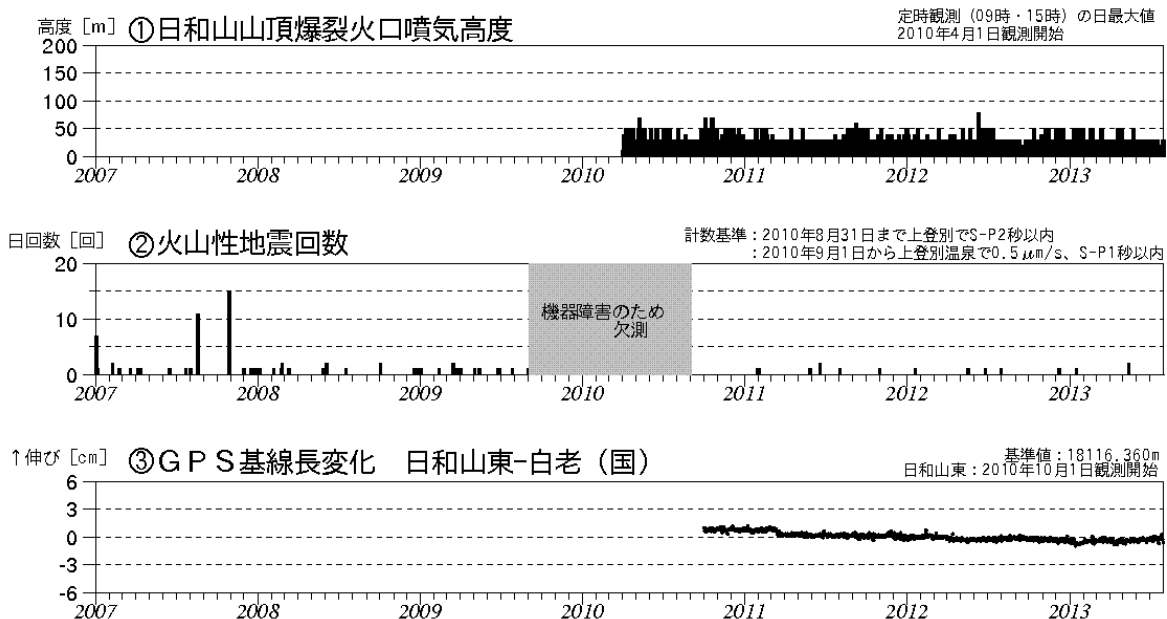
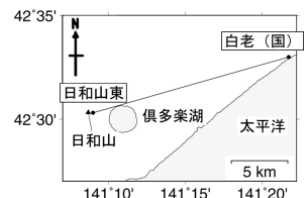


図1 倶多楽 火山活動経過図（2007年1月～2013年7月）、GPS連続観測点配置図

- ・ ③のGPS基線は右図に対応しています
- ・ （国）：国土地理院



この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院及び北海道大学のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

次の火山活動解説資料（平成25年8月分）は平成25年9月9日に発表する予定です。



図2 倶多楽 南南西側から見た日和山、大湯沼及び地獄谷周辺の状況
（7月1日、414m山遠望カメラによる）

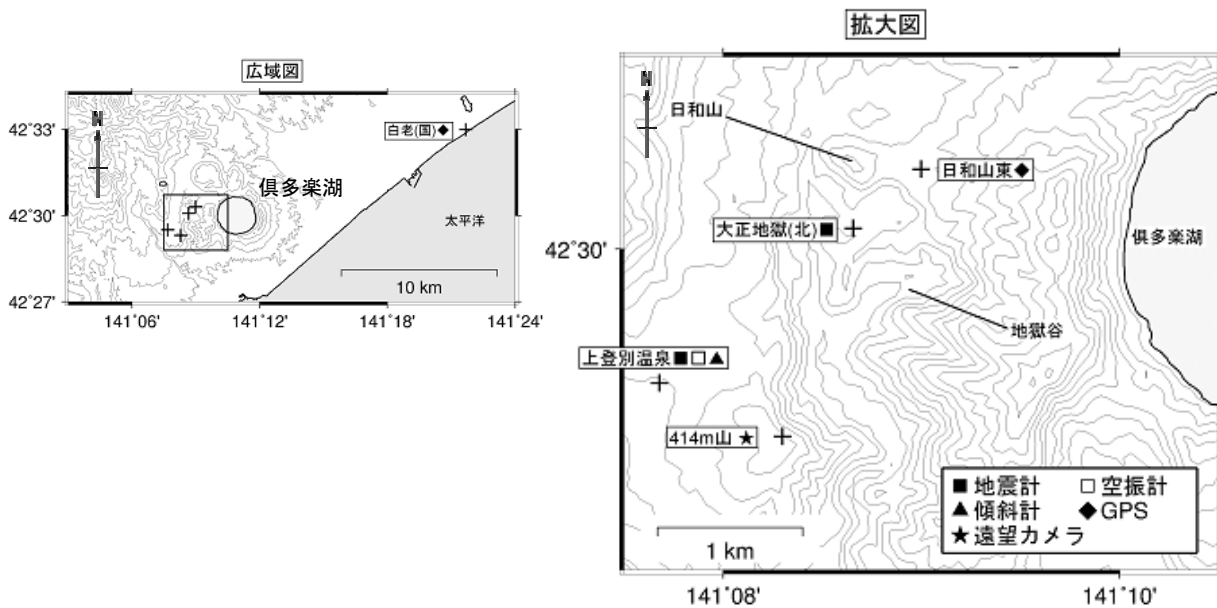


図3 倶多楽 観測点配置図
広域図内の口は拡大図の範囲を示します
＋印は観測点の位置を示します。
気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。
（国）：国土地理院
（北）：北海道大学